

株式会社植田板金店

岡山県岡山市

生産性向上
ものづくり

徹底した社員教育により飛躍的な生産性の向上 職人の技と高機能素材を活かした「小屋」で躍進

同社は、1976年に現社長の父である植田誠貴男が板金業を創業。2010年に現社長である植田博幸が代表取締役に就任した。2011年5月には東日本大震災の復興事業に対応すべく仙台支店を開設。事業内容としては、屋根工事、雨樋工事、外壁工事、リフォーム工事、遮熱工事である。2017年1月には「小屋事業部」を立ち上げ、スモールビジネスの起業拠点や、コロナ禍において需要が増えた在宅ワークや趣味のスペース、発熱外来など多目的に活用できる製品、「小屋」を開発した。

所在地 岡山県岡山市中区藤崎673番地
電話/FAX 086-276-3686 / 086-276-3690
URL <https://uedabk.co.jp/>
代表者 代表取締役 植田 博幸

設立 1977年
資本金 3,000万円
従業員数 56人



ワンストップ体制の小屋販売で下請けを脱却、弱点を解消し好循環を生み出す

屋根・外壁等の工事の現場は雨が降れば仕事ができず、下請けの仕事は閑散があり年間を通して安定的に仕事が確保できないという弱みを小屋事業の立ち上げにより解消した。天候の影響を受けない工場で製造し、みずから営業活動、商品の開発、施工方法や手順を策定するワンストップの体制をつくることで、下請け主体から脱し大幅な業務拡大に至った。特色のある小屋づくりで全国から注目を浴び、宣伝の効果により屋根・外壁工事といった既存事業の受注や社員採用にも大きく影響するなど多くの好循環を生み出している。



日本テレビで「小屋やさん」が紹介された

世界的建築家とのコラボによる高付加価値化に成功

2018年、隈研吾建築都市設計事務所とデザイン監修およびライセンス契約を結び、「大きなにぎわいを生む、小さな小屋」をコンセプトとしたコラボ商品『小屋のワ』を隈研吾氏とのトークセッションとともにプレスリリース。植田板金店と小屋ブランド「小屋やさん」の知名度が飛躍的に向上し、他社では絶対に真似のできないデザインと施工方法による商品開発で大手商品と差別化。付加価値を向上させ、客層の拡大とともに客単価の引上げによる高収益を実現した。2022年春には、第2弾コラボ商品のリリースを計画している。



『小屋のワ』

ITシステムの導入と専門部署の構築、5S徹底により生産性向上を達成

社員の勤怠、工事、顧客などの情報を一元管理するITシステムを導入。適正な原価管理による収益性の向上や社員の業務負担の低減、効率化を図る。また、積算業務、倉庫管理・物流等の専門的な部署構築にも注力し、さらなる生産性の向上を図る。さらに、「5Sの徹底」により、トイレ掃除から建物内外の清掃、倉庫の整理整頓、社用車の清掃・洗車まで仕事として認識。その成果が倉庫内ピッキングや工事作業の効率化に好影響を及ぼすとともに、取り組みが元請企業や商社等から評価され新規顧客の獲得にも繋がる。



5Sの徹底で地域貢献も兼ねる

生産性向上

ものづくり